

実践の共有

各教員や各グループの実践の共有

グループ交流会で話し合われた内容をスムーズに全体へと発信するために、学習支援アプリを活用しました。各教員の「『共通実践』レビューシート」や、グループ交流会の中で作成した「グループシート」をいつでも誰でも閲覧できるようにしました。また、自分の実践や参観した授業の生徒の様子やワークシートをタブレットを用いて写真を撮り、シートに貼付することで、より具体的な生徒の学びの姿から、実践の検証・改善が図れるようにしました。



タブレットを用いた実践交流の様子。グループシートをみんなで作成しています。

作成したシートは、職員室の校内研究掲示板に貼り、各グループの成果と課題を共有しています。

限られた時間の中で校内研究を進めていくにあたり、ICT機器を活用することで、効率よく情報共有ができるのが大きなメリットです。また、生徒の姿や、ワークシートなどを写真で保存しているので、より生徒の学びの姿から実践交流ができました。第5回校内研究会(11月に実施)では、この「グループシート」を持ち寄って教科部会を開き、自分のグループの実践発表を行いました。1人1台端末を用いたことで、たくさんの教員がICT機器を活用するメリットに気付くきっかけにもなりました。

(A中学校 校内研究主任)

伝え合う力の育成～A中スタンダードを基盤にして～

G 班 A中スタンダード 表す を意識

【グループ研究テーマ】
生徒同士の深いコミュニケーションの活性化

【具体的な実践内容】(実践期間…2学期)

- 資料を参考にして、自分の考えを形成する活動。
- 資料を用いて、自分の考えを伝える活動。
- 自分の生活の中から資料を探することで、より身近なこととして、交流できる。

【生徒の学びの姿の実際】

生徒から見取った成果

資料を参考にすることで、より読力のある意見を形成できた。資料を用いて発表することで、より中身の濃い発表になっていた。

発達の段階を調べさせるだけでなく、その時期のポイントや注意点まで考えさせる事でより深く学ぶことができた。また、班の中で違うことを調べさせて、質問し合えたことで他のことについても学びを深めることができた。

知識だけに留まると、自分の生活の課題にまで落とし込んで考えることができなかったり、視点が広がらなかったりするが、タブレットを使うことで自分の考えを深く考え、交流することで多面的な考えが身についていたり、自分が発表したこと実践しやすくなったと思われる。

グループシート